



森と水の源流館 だより

弥生 2009年3月 vol.75

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)



<川上村の生き物クイズ>

正解はウグイスでした。

耳をすませば美しい音色かきこえてきませんか？



吉野杉雛

〓 四月三日(金)



とことん吉野杉にこだわって。

川上村内で見られる常緑針葉樹7本・川上七木かわかみしちぼくを利用したクリスマスツリー → 川上七木の再利用兼吉野杉を竹の代わりにした門松かどすぎ門杉 → 吉野杉の間伐材の変わり雛、桃の節句だって川上村産の吉野杉を主張します！スギの深緑と穂先にあしらった色とりどりの餅花との対照も鮮やかなこの吉野杉雛よしのすぎびなは、4月3日(金)まで森と水の源流館正面玄関内に展示しています。川上村の林業がまた元気になるようお願いをこめて。

まだ間に合う！プログラム案内

- 4/11(土)源流人会限定「水源地の森ツアー」(健脚向き)
9:00-17:00 定員 20人 中学生～
大人 3200円 / 中高生 1900円
 - 4/12(日)源流人会限定企画「源流学の森づくり」
9:00-17:00 定員 15人 小学5年～
大人 1500円 / 小中高生 1000円
- ※源流人会は当日入会可

★ボランティアスタッフも募集しています。

特別な技術や知識はいりません。いっしょに楽しみましょう。
詳細は森と水の源流館までお気軽にお問い合わせください。

2/14 まどり

“NPO 法人まどり”の皆さんの依頼を受けて、大阪府茨木市まで出張教室に行ってきました。

“NPO 法人まどり”は、環境学習の場として川上村に何度も来て頂いているグループです。

今回の教室は、大阪府の環境保全活動補助金活動の一つとして行われたもので、大人子供合わせて 26 名が参加しました。

スライドを使った出張教室のあと、木の実や鹿の角に触ったり、間伐材の工作体験をして楽しんでくれました。



↑参加者のみなさんと記念撮影



3/7(土) コケマップづくり

スタッフ木村の専門であるコケを観察記録する行事を蜻蛉の滝付近で行いました。当日は大形のコケを中心に 30 種程度観察し、地図にまとめていきました。ふだん、ちゃんと見ることの少ないコケの姿形やにおい、さわり心地などに参加者からは歓声が上がっていました。



↑土手のコケを熱心に観察する参加者の面々

3/1 松蔭高校ブルーアース・プロジェクト発表会

毎年、川上村での森林学習をプログラムに取り入れている神戸松蔭高校の環境プログラムの発表会に神戸まで行ってきました。

今年度も環境大臣に直接、提言を行うなど毎年すばらしい活動をされています。川上村でスタートした活動がおおきくなったことにとっても感銘を受けました。今後も、お互いに環境に対して交流を持てるとよいと思います。



↑環境メッセージを集めていました ↑吉野材を使った工作教室



★今月のコケ★ 木村が川上村のコケを紹介します。(連載第 30 回)

キョスミトゴケ

川上村の渓谷沿いを歩いていると、木々の枝から糸状に垂れ下がったコケを観察できます。これが本種です。名前のキョスミは暖地生植物で有名な千葉県清澄山ではつけんされたことにちなみます。

コケは周りの大気から水や栄養を吸収している生き物です。そのため、大気汚染などに敏感と言われています。本種は特に大気汚染に弱いとされているところから、このコケがたくさんある川上村の大気環境の良さ、清涼さを知ることができるのです。

